

平成24年行政事業レビューシート (外務省)

事業名	欧州評議会 (CoE) 拠出金 (任意拠出金)		担当部局庁	欧州局	作成責任者		
事業開始・終了(予定)年度	平成15年度開始 平成23年度終了		担当課室	政策課	課長 倉光 秀彰		
会計区分	一般会計		施策名	VII-2 国際機関を通じた経済及び社会分野に係る国際貢献			
根拠法令 (具体的な条項も記載)	外務省設置法第四条第一項二		関係する計画、通知等				
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	基本的価値である民主主義、人権、法の支配に加え、薬物乱用、サイバー犯罪、人身取引、テロ、偽造医薬品対策、女性に対する暴力等の分野で国際社会の基準策定を主導する欧州評議会への支援を効率的に実施する。						
事業概要 (5行程度以内。別添可)	平成15年度より、毎年4万5千ユーロを欧州評議会に任意拠出。欧州評議会が任意拠出金対応と定めるプロジェクトの中から、我が国が希望の事業にイヤ・マークをして拠出してきた。平成23年度は、サイバー犯罪グローバルプロジェクトのうち、「オクトパス会議」(於:ストラスブール)に拠出した。本件は、欧州評議会によるサイバー犯罪に関する条約の普及のための国際会議であり、我が国は同条約に署名済み(本年批准予定)であるところ、右会議開催費を欧州評議会に拠出することで、同条約の締結国の増加を促進するとともに、我が国の同条約普及への貢献を域内外にアピールする機会とするもの。						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託・請負 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他						
予算額・執行額 (単位:百万円)	予算の状況	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度要求	
		当初予算	7	6	5	-	-
		補正予算	-	-	-	-	-
		繰越し等	-	-	-	-	-
	計	7	6	5	-	-	
執行額	7	6	5	-	-		
執行率 (%)	100	100	100	-	-		
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標	単位	21年度	22年度	23年度	目標値 (年度)	
	【成果目標】欧州評議会による事業への貢献を通じた民主主義、人権、法の支配の促進。 【成果実績】日本が貢献した会議等への参加人数 ※22年度についてはCoE側から当初の参加見込み人数が接していないため、記入不可。	成果実績 (目標値)	人	85 (100)	103 (100)	200 (100)	-
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標	単位	21年度	22年度	23年度	24年度活動見込	
	政治的過渡期にある国々の若手指導者を対象にした政治研究スクールへの拠出ないしサイバー犯罪条約の普及のための会議への拠出	活動実績 (当初見込み)	件	1	1 (1)	1 (1)	- ( )
単位当たりコスト	例年の拠出金 (約6,000,000円/1事業あたり)		算出根拠	平成23年度拠出額合計/事業数合計			
平成24・25年度予算内訳 (単位:百万円)	費目	24年度当初予算	25年度要求	主な増減理由			
	-	-	-	廃止			
	-	-	-				
	-	-	-				
	-	-	-				
	-	-	-				
	-	-	-				
	計	-	-				

事業所管部局による点検			
	評価	項目	評価に関する説明
目的・状況・予算の	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	欧州評議会自体は国内的な注目度は高くないものの、サイバー犯罪条約は注目度が高く、国が支援する事業として相応しい。
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業となっていないか。	
	－	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ、使途・費目・	○	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	支出先の選定に際しては、毎年数件を候補として挙げ、支出の意義等を勘案しつつ精査している。
	－	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	－	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績、成果実績	○	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	欧州評議会のオブザーバー国としてプレゼンスをアピールするための実効性の高い手段であり、活動実績は見込みに合っている。
	○	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	○	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	－	類似の事業があるか。その場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。 ※類似事業名とその所管部局・府省名	
	－	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検結果	<p>(1) 欧州評議会を通じた拠出金を通じて、アジアで唯一のオブザーバー国としてのプレゼンスをアピールしてきた。我が国のジビリティを高めるため、我が国が拠出したプロジェクトに関する広報をプロジェクトの実施現場等において、より積極的に行っていく必要がある。また、事業準備段階から積極的に関与していく必要がある。</p> <p>(2) 我が国としては、本件のような小規模拠出金でも、日本のCoEに対する財政貢献をより具体的かつ明確に外部に示すことができるよう、平成24年度からは拠出金から一般経費化した。</p>		
予算監視・効率化チームの所見			
－	－		
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
－	－		
補記 (過去に事業仕分け・提言型政策仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載)			
関連する過去のレビューシートの事業番号			
平成22年行政事業レビュー	0155	平成23年行政事業レビュー	149